

産業構造審議会 第 13 回 知財分科会

各論 2 : 第2次地域知財活性化行動計画 (概要)

令和 2 年 7 月

特許庁



- 1 第1次地域知財活性化行動計画の概要及び達成状況
- 2 第1次地域知財活性化行動計画を推進しての現状及び課題
- 3 第2次地域知財活性化行動計画策定への期待
- 4 第2次地域知財活性化行動計画における基本方針の変化
- 5 第2次地域知財活性化行動計画における新KPI（成果指標）の設定

1-1. 第1次地域知財活性化行動計画の概要

- 知財の取得・活用を促進することで**地域・中小企業のイノベーション創出**を支援し、我が国の成長力向上及び**地方創生に寄与**することを目指し、2019年度までの「地域知財活性化行動計画」（2016年9月26日産業構造審議会知的財産分科会決定）を策定・推進。

基本方針 その1 着実な地域・中小企業支援の充実

- 中央レベルでは、**特許庁及びINPIT**が中心となり、知財に係る制度や支援施策の普及啓発、情報提供、各種の相談・指導対応等、**基盤的な支援の取組等**を着実に実施。

基本方針 その2 地域・中小企業の支援体制の構築

- 地域レベルでは、中小企業庁との密接な連携の下、「**知財総合支援窓口**」と「**よろず支援拠点**」が中心となり、**各地域の実情に応じた支援**の取組を展開。
- 弁理士、弁護士、（一社）日本知的財産協会等、**関連する専門家、機関の知見・リソースを総動員**。また、商工会議所・商工会、地域金融機関、JETRO等と緊密な連携を図る。

基本方針 その3 KPIの設定とPDCAサイクルの確立

- **中央レベルでは、意欲的なKPIを、地域レベルでは、当該地域に所在する中小企業数等に応じたKPI**を設定した上で、ユニバーサルな知財サービスの実現を図る。
- **PDCAサイクルのプロセスにおいては、各地域の先進取組事例等、優れたノウハウを全国的に共有できる仕組みを構築**。

1-2. 第1次地域知財活性化行動計画の達成状況

数値目標 達成状況

- 各支援段階別に設定された数値目標のうち、**85%（17項目／20項目）**の達成

中央レベル（特許庁及びINPIT）KPI達成状況

設定された**6つのKPIのうち、5項目を達成**

- 全国の知財総合支援窓口における相談件数
平成27年度 8万件 → 平成31年度 9.5万件（20%増加） → **10.7万件（令和元年度実績）**
- 全国の知財総合支援窓口を通じて弁理士、弁護士等の専門人材による支援件数
平成27年度 12,500件 → 平成31年度 15,000件 → **16,898件（令和元年度実績）**
- 全国の知財総合支援窓口とよろず支援拠点との連携件数
平成27年度 700件 → 平成31年度 1,500件 → **2,615件（令和元年度実績）**
- 知財に着目した融資等を行う金融機関数
平成27年度 6機関 → 平成31年度 累計50機関 → **73機関（令和元年度実績）**
- 特許出願件数における中小企業の割合
平成27年 14% → 平成31年 15% → **16.1%（令和元年実績）**
- 新規に特許等の出願を行う中小企業数
平成27年 1,600社 → 平成31年 2,500社 → **1,629社（令和元年実績）**

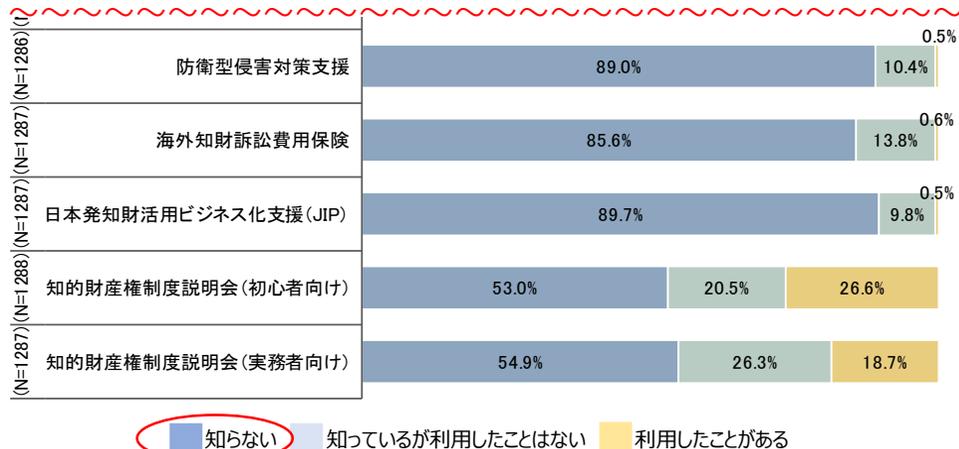
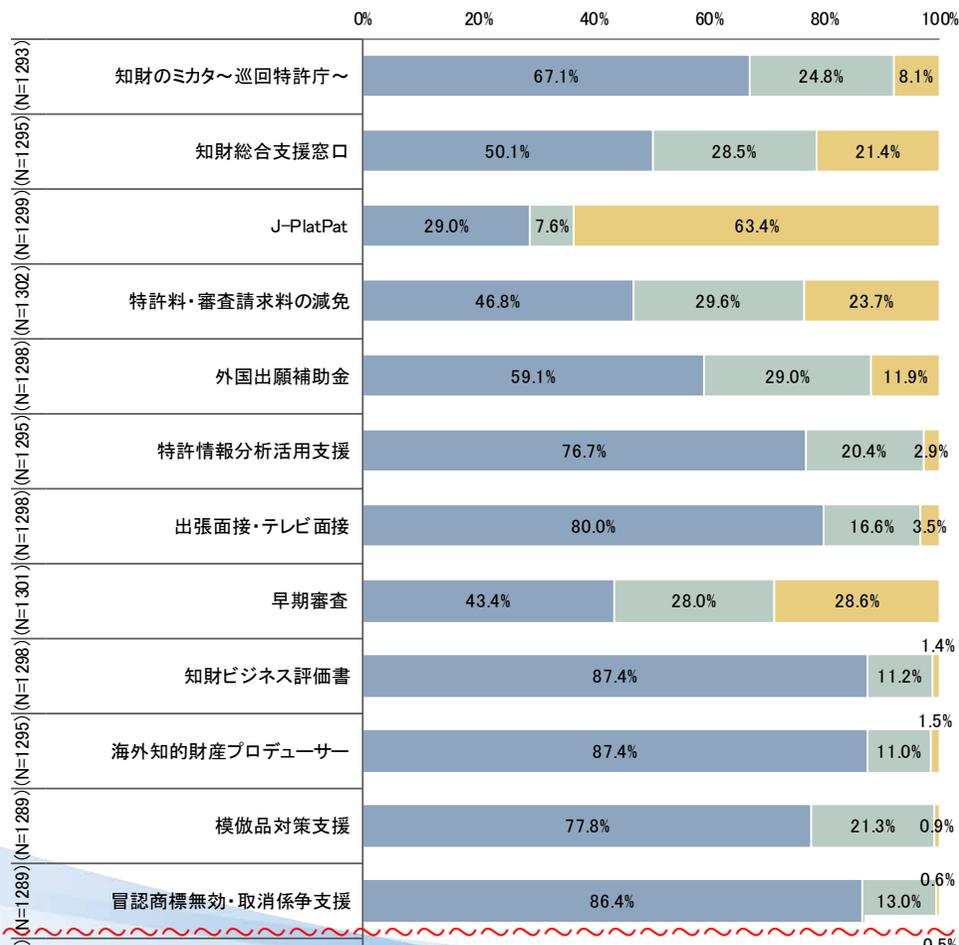
地域レベル（経済産業局及び知財総合支援窓口）KPI達成状況

- 各都道府県別に設定されたKPIのうち、**全国計約92%（136項目／148項目）**を達成

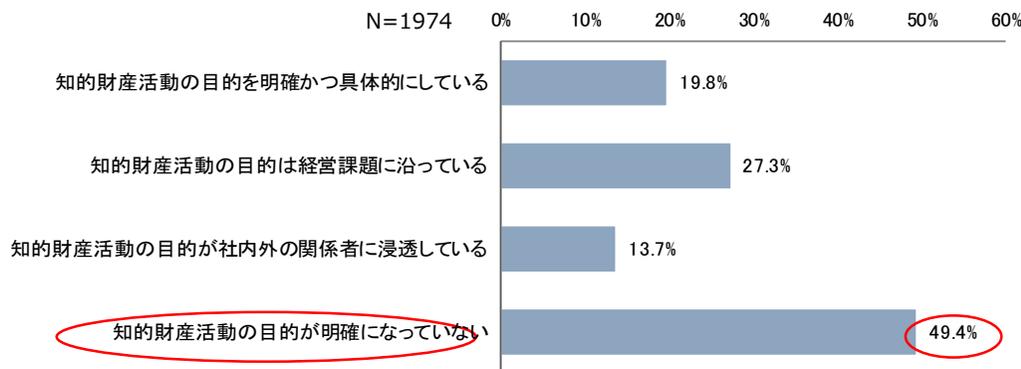
2-1. 第1次地域知財活性化行動計画を踏まえた現状及び課題 (1)

- ① 知財支援施策に対する認知度が低く、適切な支援施策及び支援機関の選択・組合せができていない。
- ② 知的財産権活用の目的が明確化されていない地域・中小企業が依然として多い。

① 特許庁支援施策の認知度 (2018年度)



② 中小企業における知財活動の経営戦略への位置づけについて (2018年度) (複数回答)



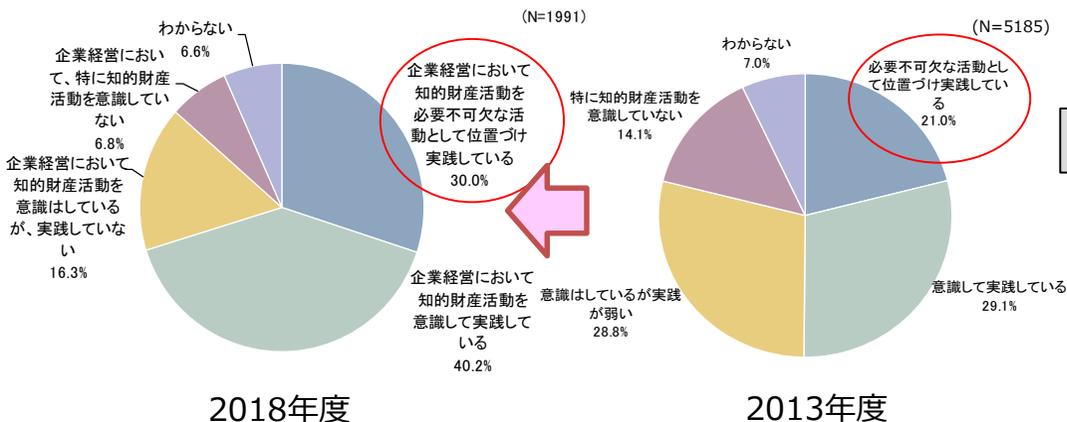
出典：①、② 特許庁「中小企業の知的財産活動に関する基本調査」平成30年度報告書

2-2. 第1次地域知財活性化行動計画を踏まえた現状及び課題（2）

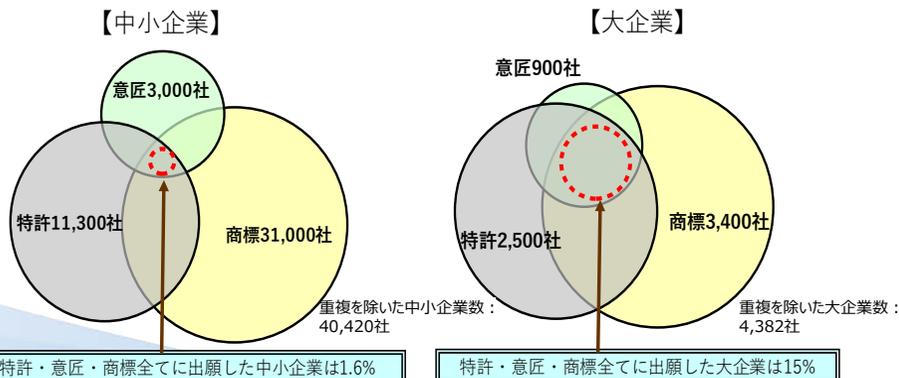
③ 知財経営・知的財産権ミックスの実践が進んでいるが、一部の企業にとどまっている。

④ 知財を取り巻く新たな情勢への対応が不十分。

③-1 企業経営における知財活動の位置づけの変化



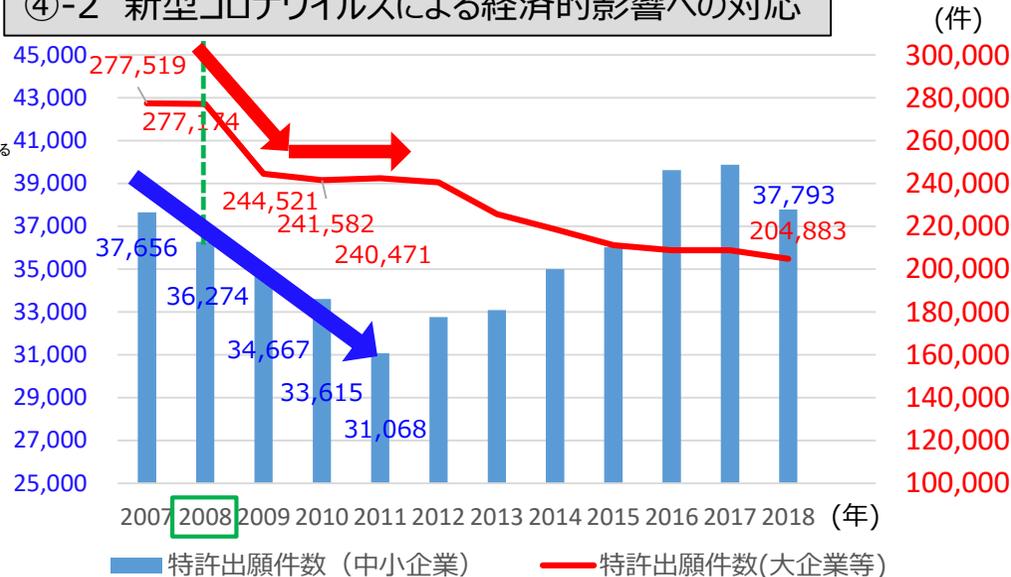
③-2 知財ミックスの現状（2018年度）



④-1 知財を取り巻く昨今の社会変革（例）

- イノベーションの変質（供給主導から需要主導へ）
- データ・人工知能・IoT等の技術的進展
- 人々の価値観の変化（モノよりコト、共感、シェア）

④-2 新型コロナウイルスによる経済的影響への対応



- 2008年のリーマン・ショック発生後、中小企業の方が大企業等よりも、早くから遅く(2011年)まで影響を受けており、特許出願件数等の落ち込みも深刻であった。
- 今般の新型コロナウイルスによる経済的影響はリーマン・ショック時を上回ると予想され、中小企業に対し最適な支援策を講じる必要がある。

出典：③-1 特許庁「中小企業の知的財産活動に関する基本調査」平成30年度報告書
 ③-2、④-2 特許庁総務部普及支援課調べ
 ④-1 「知的財産戦略ビジョン」（2018年6月12日知財戦略本部決定）

2-3. 第1次地域知財活性化行動計画を踏まえた現状及び課題（3）

- 新型コロナウイルスの経済的影響を受け、従来の契約関係が薄れる中、市場につながる地域を牽引する企業を重点支援することにより、地域全体を活性化させることが重要。

Post/Withコロナ時代のニューノーマル

リアル空間からサイバー空間への移行の加速

若者の地方回帰

オープンイノベーションの推進

規模拡大や事業組み替えをしようとする成長志向の事業者を重点化。

左記のような市場の変化に応じた対応能力がますます必要。

地域の特性(技術・人材)を生かして高い付加価値を創出し、地域の経済成長を力強く牽引する企業をターゲット化して支援。

地域・中小企業の新たな市場開拓の場が広がる

(地域のイノベーションの創出・地域創生)

地域未来牽引企業

- 「コネクター・ハブ特性（地域経済の取引の結節点）」
- 「今後の地域経済への貢献期待」

⇒この地域未来牽引企業等をターゲット化することで、傘下の中小企業の底上げに繋げる。

⇒基本方針1「ターゲットを意識した地域・中小企業支援の実施」として設定した「**第2次地域知財活性化行動計画**」を策定

3. 第2次地域知財活性化行動計画策定への期待

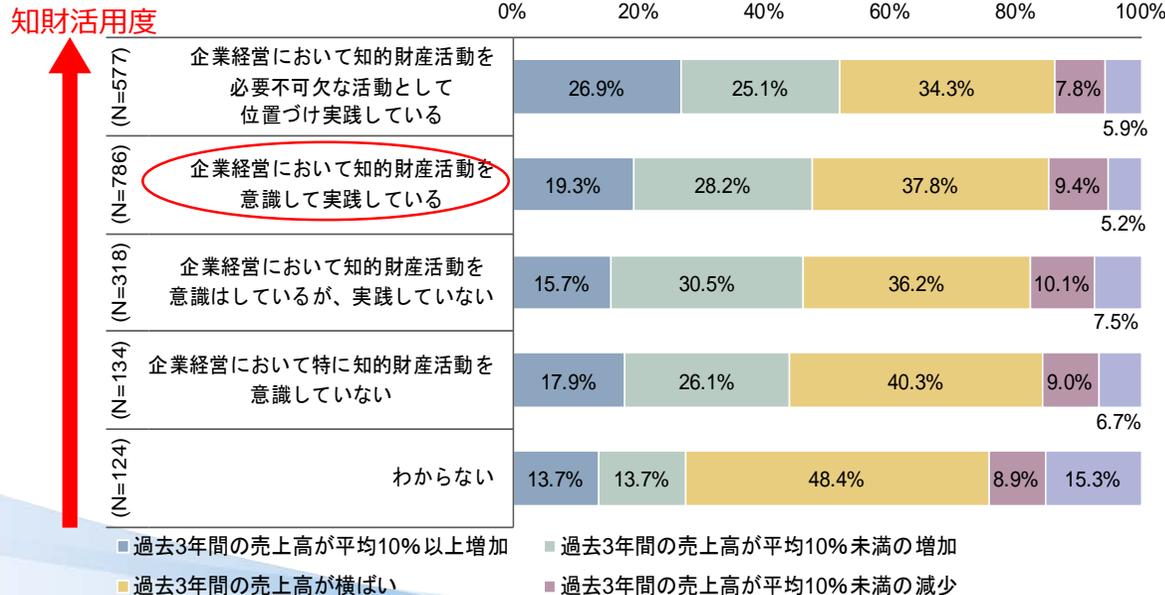
- ①～③の課題を解決し、引き続き**地域・中小企業のイノベーション創出、地方創生へ寄与**すると共に、④**新たな知財情勢を踏まえた地域・中小企業**に対する支援策を推進することが必要。
- 特許庁、INPITが地方自治体等の関係主体と連携して実施する次期行動計画として、2020年度から2022年度の3年間の「**第2次地域知財活性化行動計画**」を策定する。

第2次地域知財活性化行動計画における新基本方針

- その1 **ターゲットを意識した地域・中小企業支援の充実**
- その2 **地域・中小企業の支援プレイヤーの連携と支援の融合**
- その3 **KPIの設定・共有と新たな情勢を踏まえた取組**

特に中央レベルでは、**地域未来牽引企業等知財活用のポテンシャルの高い企業**をターゲットにして、**ハンズオンで事業成長までフォローアップ支援**等を実施。

(参考) 企業経営における知財活動の位置づけと業績の関係 (2018年度)



- 知財経営を必要不可欠と位置付け実践している中小企業は、過去3年間の売上高増加率が他と比較して大きいことが分かる。
- そこで中央レベルでは、「知財経営を意識して実践している」中小企業層をターゲットとして知財戦略構築に行きつくまで重点支援を行い、もう一段階上のステージへ誘導する。
- 一方地域レベルでは、地域の特色や自治体の産業振興ビジョン等を踏まえて都道府県ごとのKPIを設定し、達成を目指す。

4-1. 第2次地域知財活性化行動計画基本方針の変化（1）

(第1次)行動計画基本方針 その1 着実な地域・中小企業支援の充実



第2次行動計画基本方針 1 : ターゲットを意識した地域・中小企業支援の充実

- 特許庁、INPIT、地方自治体、知的財産室（関係主体）は、関係主体ごとのターゲットを意識して、知財の権利化や利活用のための効果的な戦略の構築を支援し、中小企業の知財活用度のステージを引き上げることにより、企業の「稼ぐ力」を強化。
- 特に中央レベルでは、地域未来牽引企業やサポイン採択事業者、ベンチャー企業等の知財活用のポテンシャルの高い企業をターゲットに、ハンズオンで事業成長までフォローアップ支援等を実施。

ハンズオン支援のイメージ

プッシュ型訪問



(知的財産室含む)

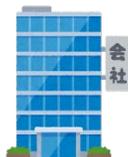


全国へ訪問

プッシュ型訪問



地域未来牽引企業



会社

知財戦略構築に向けた提案



課題の抽出

専門家派遣



弁理士等、企業の課題に応じた専門家



地域未来牽引企業



会社



課題の解決

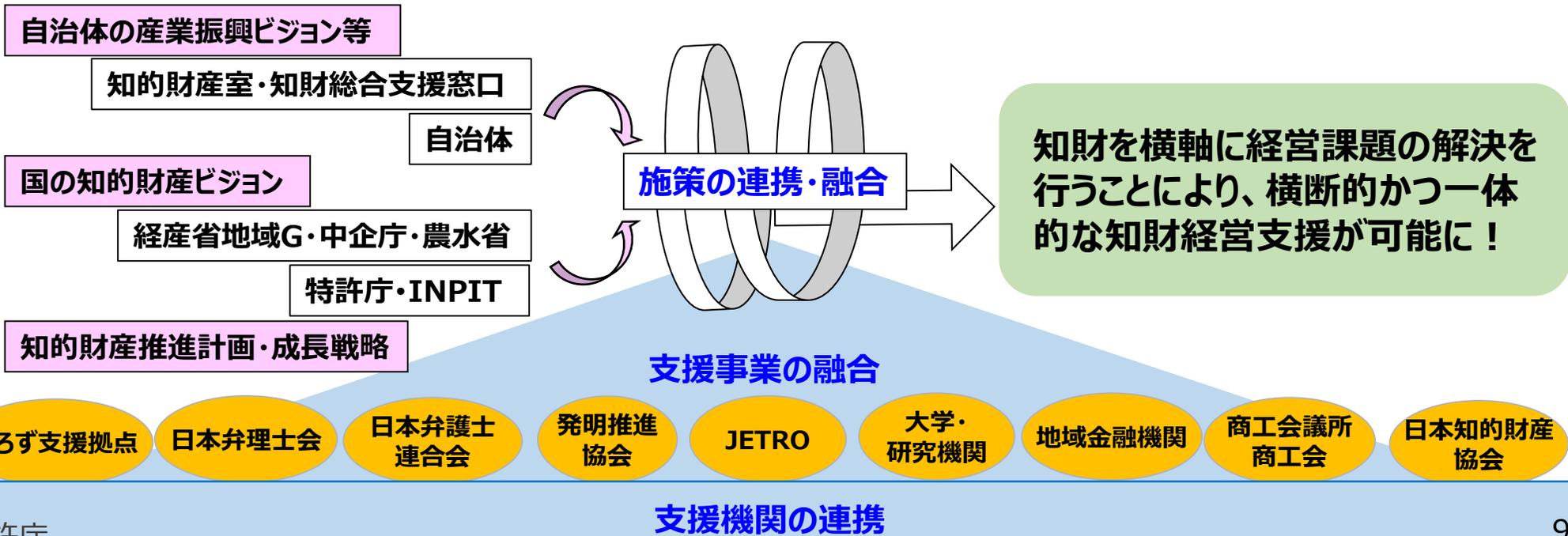
4-2. 第2次地域知財活性化行動計画基本方針の変化（2）

(第1次)行動計画基本方針 その2 地域・中小企業の支援体制の構築



第2次行動計画基本方針 2：地域・中小企業の支援プレイヤーの連携と支援の融合

- 特許庁を中心として、経済産業省（中企庁・地域経済産業グループ）、農水省、各関係主体や地域の支援機関等との連携を強化し、各支援事業(補助金・助成金、専門家派遣、セミナー等)と特許庁が持つ各知財施策（特許料の軽減、早期審査等）を組み合わせることで、支援の抜け漏れ防止や支援手法の最適化を図り、**横断的かつ一体的な支援体制を構築**。



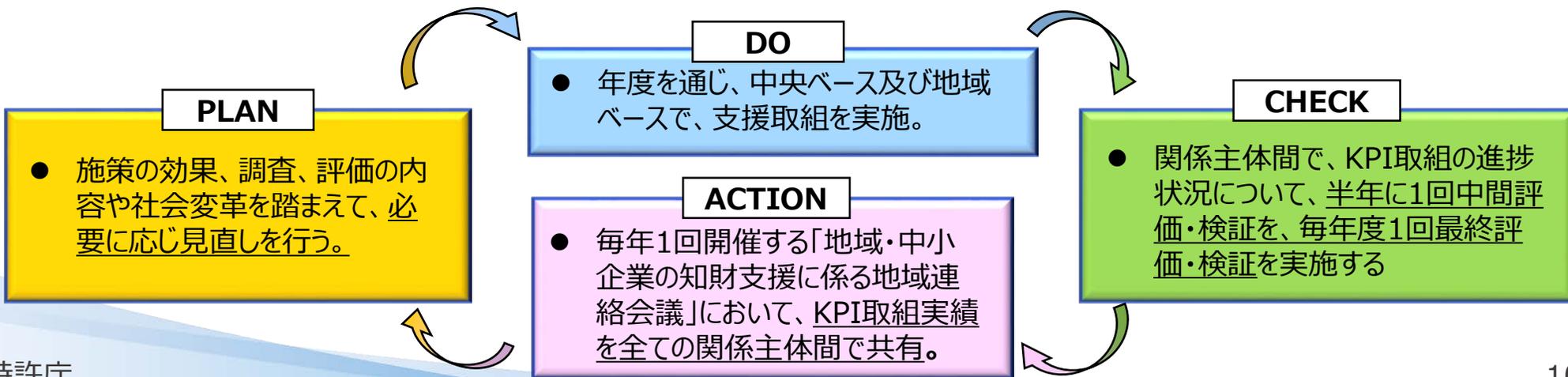
4-3. 第2次地域知財活性化行動計画基本方針の変化（3）

（第1次）行動計画基本方針 その3 KPIの設定とPDCAサイクルの確立



第2次行動計画基本方針3：KPIの設定・共有と新たな情勢を踏まえた取組

- 中央では、特許庁及びINPITが主体となり、**ハンズオン支援を基幹指標**と定めたKPI（中央KPI）を策定・推進。同時に、知的財産戦略ビジョン（2018年6月知財戦略本部決定）に記載のある社会変革や、新型コロナウイルスによる経済的影響等の**新たな情勢も踏まえた先駆的な取組**を試行。
- 地域では、**地方自治体**及び知的財産室が主体となり、地域の特色や各自治体の産業振興ビジョン等を踏まえた都道府県ごとのKPI（地域KPI）を策定・推進。
- 各関係主体が**PDCAサイクル**を回しながら定期的に自己検証を行い、その情報を**他の関係主体に共有**することで、関係主体間で活動状況を相互に把握。



5-1. 中央KPIと効果指標

基幹中央KPI

地域未来牽引企業・サポイン採択企業・ベンチャー企業等のターゲット化された企業に対する知財戦略構築のためのハンズオン支援社数：
250社/年度(2020～2022年度累計750社)

実施主体

- 地域経済産業G
- 特許庁
- INPIT
- 知財総合支援窓口
- 知的財産室 等

ハンズオン支援

ハンズオン支援の過程で既存の施策をうまく選択・組み合わせる

- 知財ビジネス評価書・提案書
- 外国出願費用補助
- 早期審査・審理
- スーパー早期審査
- 特許料等の一律減免
- 模倣品対策支援策 等

効果指標 (アウトカム)

ハンズオン支援により事業成長(利益率の向上、海外展開等)及び特許等の取得や活用の促進が認められた企業数：
150社 (2020～2022年度累計)

基幹中央KPIに付随して選択・組み合わせる際の施策及び中央KPI

- 地域金融機関と連携した知財に係る中小企業支援件数：
250件 (2020～2022年度累計)
- 外国出願補助金支援による新規採択件数：
400件/年度
- 中小企業による早期審査申請件数：
5,500件/年度
- ベンチャー企業によるスーパー早期審査申請件数：
300件/年度
- 特許庁及び海外展開・営業秘密等を含む窓口における関係機関との連携件数：
9,000件/年度

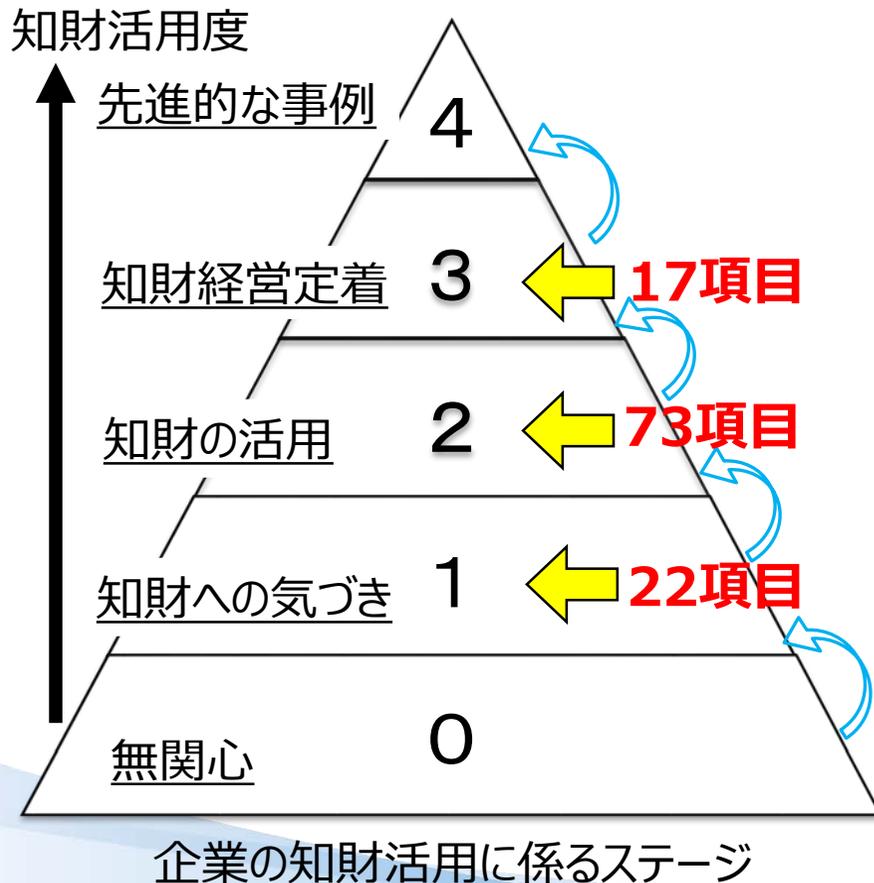
その他効果指標 (アウトカム)

- 中小企業の国際特許出願件数(PCT出願)
4,379件(2018年) → 5,000件/年(2022年)
- 企業経営において知的財産活動を必要不可欠な活動として実践している中小企業割合
30%(2018年) → 40%

5-2. 地域KPIと知財活用ステージ

地域KPI

地域では、都道府県別に
合計112項目の数値KPIを設定



ステージ3 知財経営の実践・定着

●知財戦略の策定支援 ●知財戦略による新製品開発 等

- 知財経営による企業力の強化を目指す中小企業等の30者以上（累計）に対し、自らの知的財産（技術、ブランド等）を磨き、事業戦略を踏まえた知財戦略（権利化・標準化・秘匿化等）を検討し、効果的にビジネスにおいて活用できるように支援を行う。【例：愛知県KPI】

ステージ2 知財の活用（取得・活用）

●知財マッチング ●産学連携 ●知財実務者人材育成
●伴走型支援 ●知財活用セミナー開催 等

- 本県の強みである農林水産物などの地域資源を活用した産業振興や、地域団体商標やGI取得を契機としたブランド構築や販路拡大等に取り組む中小企業等を知財活用の観点から支援するため、セミナーを年6回開催する。併せてセミナー参加者を対象に、中小企業等への伴走型支援も行う。【例：青森県KPI】

ステージ1 知財への気づき（認知）

●普及啓発セミナー（知財制度、ブランディング、海外展開）等

- 海外でのビジネス展開に必要な知財セミナーを年1回開催し、海外への進出や販路拡大を行う企業・団体等の増加を目指す。【例：長崎県KPI】

特許庁

